



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第8号
平成26年12月18日
校長 松丸 晴美

「麦は踏まれて強くなる。子どもは？」

今年の授業日も残すところ10日余りとなり、クリスマスのイルミネーションが輝く頃になりました。今年、青色発光ダイオードにかかわる研究で3人の大学教授がノーベル物理学賞を受賞しました。偉業をなした3名の科学者の方々はどのような中学生だったのでしょうか？

素晴らしい功績や人柄に思いを馳せながら眺める光は一段と美しく見えます。

師走に入り寒く乾燥した日が続き、本校でもインフルエンザが流行し始め、1・2年生は欠席する生徒が増えています。

幸い3年生は、これまで培ってきた抵抗力と日頃の予防対策が効を奏しているのか、元気に登校し、熱心に授業に取り組んでいます。

また、放課後には、中学校生活の集大成として、校長・副校長との模擬面接練習に臨んでいます。この模擬面接は、面接の心構えや態度を学ぶとともに、生徒が改めて自分を省みて、将来の仕事や生き方について考え、主体的に進路を選択・決定する力を身に付けることをねらいとして実施しています。

面接では、服装・髪型などの身だしなみや立ち居振る舞い、受け答えの仕方や内容などについて評価し、指導します。

すでに学級で練習し、指導を受けた生徒たちの多くは、基礎基本がしっかりできていて、少しのアドバイスで事足ります。

生徒のための模擬面接練習ですが、私自身が改めて確信できたこともたくさんあります。

それは、「中学校はかくあるべき」という姿が見えたからです。いくつか紹介します。

まず、「中学校生活の中で一番努力したことや頑張ったことは何ですか」という質問に対しては、多くの生徒が運動会や合唱コンクールなど

の学校行事、部活動を通して「皆で協力しあえた」ことをあげました。部活動については、「やめたいと思ったことはありますか？」という少し意地悪な質問をしたところ、ほとんどの生徒が、練習がきつかったり、記録や技能が思うように伸びなかった時、部内の人間関係が上手くいかなかった時などに「やめたい」と思ったようです。しかし、顧問の先生や友人、家族の励ましで部活動を継続したことが、「やりぬいた」という自信にもつながっているようです。

次に、「中学校生活を通して学んだこと、成長した点はなんですか」という質問に対しては、「人との関わり方が上手になった」「自分のことだけではなく、周りの人のことも考えられるようになった」とコミュニケーション力の向上をあげる生徒が多かったです。

心も体も大きく成長し、多感に揺れ動く中学生期に、高いハードルや困難なこと、様々な葛藤を自分の力で乗り越えてこそ、人として大きく成長することを、生徒たちの答えを聞きながら改めて確信できました。とかく親がレールを敷き、脱線しないようにとすぐに周囲が手を差し伸べる風潮がある昨今ですが、山あり谷ありの学校生活があつてこそ、生徒はたくましく成長していくのではないのでしょうか？

「可愛い子には旅をさせよ」ということわざがありますが、子どもがどうやって困難を乗り越えていくかしっかり見守りながら、ここぞというときに助け船を出せるような親であり、教師でありたいものです。

保護者の皆様には、各ご家庭でのしつけはしっかりと行っていただきながら、いざという時に学校と手を携え、子ども達に適切な援助ができるよう、これからも連携を深めさせていただきたいと考えています。

校内創作ダンス発表会

保健体育科主任 主任教諭 星野 美知子

1月28日(金)に校内創作ダンス発表会が行われました。今年は、東京女子体育大学ダンス研究室の平田利矢子先生による、現代的なリズムのダンスを、創作ダンスの導入として取り入れ、多くの生徒が、エグザイルの Won't be long によって“踊ることを楽しむ”ことができ、ここから、それぞれの創作がスタートしました。



1年生男子の『創作リズムダンス』は、基本の Won't be long を4展開させたオリジナルのダンスで、どのクラスもノリの良い、個性あふれる作品となりました。女子は『絆』という共通テーマから、各クラスのサブテーマを決め、イメージ、動き、音楽まで自分たちで考え作品にしました。比較的、創作がスムーズに進み、最後は踊り込みまでできるクラスが多く、立派な発表でした。

2年生は、クラスで1つの作品を創るといふ、とても大きな課題に取り組みました。限られた時間のなかで男女が協力して話し合いや動きづくりをしていくのは、決して簡単なことではありません。しかし、苦勞しながらも、何かをイメージしてなりきって踊る楽しさ、何もないところから自分たちで創り出す喜び、仲間と協力して1つの作品を作り上げる楽しさといったものを感じられた生徒が多かったのではないかと思います。『自然』という共通テーマから、各クラスで考えたサブテーマが、色々な形で工夫され表現されていました。音楽も工夫されたものが多く、見応えがあり、さすが2年生という発表でした。



創作ダンス独特の、仲間と共に『踊る』・『創る』・『観る』という心身の活動に対して、1年生も2年生も大変良く取り組んでいました。さすが石神井西中生！来年も是非この素晴らしさを引き継いで、更に高めて

いって欲しいと願っています。

発表会には、134名という大変多くの保護者の皆様にご来校いただき、会を盛り上げていただきました。誠にありがとうございました。

また、来年1月27日(火)に行われる、練馬区中学校連合ダンス発表会に石神井西中学校代表として参加するのは、2年F組となりました。今年の2年生は、どのクラスもそれぞれにテーマにあった表現の良さや工夫があり、選出に苦勞しました。2年F組は、練馬文化センターの大ホールで素晴らしい発表をしてくれることを期待しています。



ハートフルコミュニケーション

第2学年 教諭 白川 恒

「ハートフルコミュニケーション」は、第2学年の生徒が休み時間などを利用して、教員と1対1の教育相談(面談)を行う取組みです。この取組みは、あいさつや会話を通して、他者と関わるための基本的なコミュニケーションマナーを身に付けさせることを主な目的としており、今年度は11月中旬から2月初旬が実施期間になっています。また、生徒が面談する教員は、日常的に関わりのある第2学年の教員に限定されず、全学年の教員が分担して面談を行っています。この1ヶ月間で、既に面談を終え

た生徒がクラスで、担当の先生とどのような話をしたのかを話題にしている姿が見られるようになりました。

私自身も数名の生徒と面談を終えましたが、普段の授業で目にする表情とは違い、どの生徒も最初のうちは緊張した様子で面談に臨んでいました。しかし時間も終盤になると、自分が事前に決めた話題だけではなく、将来の夢や部活動での近況など、様々なことを話題にしてくれました。

話は変わりますが、「平成26年度 全国学力・学習状況調査」(文部科学省)の結果によると、学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたときの対応について、約45%の生徒が、「友達に相談することが多い」と回答したそうです。月並なことですが、友達を含めて誰かに相談することで、自分の状況が相手に伝わり、相手は相談した人を理解しやすくなります。また相談を受けた側は、自分は信頼されているのだな、とうれしく思うことも多いですし、何か力になってくれることも多いと思います。

「ハートフルコミュニケーション」は、あらかじめ相談(面談)の機会が設定されたものですが、何か悩みを抱えたときは、今回お世話になった先生に相談してみるのもよいのかも知れません。

本の探検ラリー

図書館担当 主任教諭 多田美佐枝

後期図書委員会の取り組みとして、区立光が丘図書館の後援による「本の探検ラリー」を行いました。

「本の探検ラリー」とは、展示された12ジャンル別約360冊の本から、6問のクイズ(20通りの出題用紙があります)の答えを探す形式の催しです。

ジャンル：家族、友情・恋、自立へ道、生と死、世界の民族・文化、自然と科学、昔話とことば、平和を求めて、冒険、怖い話・不思議な話、ユーモア、歴史を舞台に

区立図書館や小学校でも盛んにおこなわれていますが、それとは使用する本も内容も異なる中学校対象のものになっています。直接に本を手にして、目次や文章を読みながらクイズの答えを探す形式なので、本好きだけでなく楽しめるものです。

我が石西中では、平成22年に1年の全クラスで国語の授業で初めて実施しました。以後は、図書委員会のイベントの1つとして取り組んでいます。

今年は11月6日(木)放課後に、図書委員会の中で全委員が取り組みました。その後7日(金)~11日(火)の3日間の昼休みと放課後に、3年図書委員が世話係となり、希望者の参加で行いました。放課後は、やはり部活動が優先するのでほとんど参加者がいませんでしたが、昼休みは少しずつ多くなり累計100名の生徒が楽しみました。昼休みに6問すべてをクリアするのは難しいですが、多くの参加者が、時間があればもっとやりたいと話してくれました。



【諸活動の記録】

- 新体操
 - 種目別 ボールの部 第5位 1年C組 新井彩夏
- 中学生作文コンクール
 - 都道府県別生命保険文化センター賞 3等 1年D組 窪田優菜
 - 2年D組 上田歩実
 - 都道府県別生命保険文化センター賞 佳作 1年D組 中村啓人
 - 1年F組 篠木愛生
- すこやか一声運動標語（練馬区青少年育成関地区委員会）
 - 優秀賞 3年C組 湯口歩
 - 佳作 1年C組 小田部葵
- バドミントン部
 - Bブロック 新人大会 女子の部
 - 個人戦 ダブルス 第3位 2年B組 松田さくら 2年C組 稲村圭音
 - 顧問より 都大会出場のハードルはクリアできました。さらなるレベルアップをしていきましょう。
- 練馬区中学校駅伝大会
 - 第2区 第2位 2年C組 吉田百花
 - 第4区 第3位 3年E組 平山瞳海
- 練馬西間税会「税の標語」
 - 練馬西税務署 署長賞 2年A組 佐々木琉成
 - 優秀賞 2年A組 藤村有純
 - 佳作 2年B組 奈須朱音 D組 松下菜々 F組 高橋里奈
- 全国納税貯蓄組合連合会並びに国税庁「中学生の税についての作文」
 - 都税事務所長賞 3年D組 遠藤淳
 - 会長賞 3年D組 日尾裕亮
 - 優秀賞 3年C組 内田剛
 - 練馬区教育委員会教育長賞 3年F組 渡邊彩菜
- 練馬区環境作文コンクール
 - 佳作 1年F組 清水ゆま 松崎凜々子
- 練馬区青少年委員会ジュニアリーダー養成講習会中級
 - 皆勤賞及び修了 1年A組 井口紗実 大浦優菜 金田直穂 D組 村上奈緒 F組 渡邊七海
 - 2年A組 夏山鈴果 3年B組 新藤駿人
 - 修了 1年B組 中村慎吾 井口ゆきな D組 串田千尋 E組 中田理沙 F組 松崎凜々子
 - 籠利優子
 - 3年B組 久保田妃南
- 練馬みどりの俳句大賞
 - 練馬区商店街連合会特別賞 2年D組 上田歩実
 - 佳作 2年B組 熊木夏奈穂 C組 佐々木駿宇 田中碧 D組 阿部友子 田中凜

